

# 教職概論

|   |   |                   |  |
|---|---|-------------------|--|
| 単位数   | ナンバリングコード   |                   |  |
| 2   | DTP170  |                   |  |
|    | 教員名   | 渡邊 仁              |  |
|   | 専門  | 教育学・教育心理学・学校心理学   |  |
|   | 出身校等  | 北海道大学             |  |
|   | 現職  | 北海道情報大学経営情報学部 准教授 |  |
| 授業形態  |   |                   |  |
| 前期印刷授業・後期印刷授業   |   |                   |  |
| 授業範囲  | 試験範囲  |                   |  |
| 教科書の内容全て・学習用プリントの内容全て   | 授業範囲全て  |                   |  |
|   | 【試験時参照許可物】<br>一切自由 ※ただしWebページ（通信教育部POLITEを除く）<br>と生成系AIの参照は不可とする。 |                   |  |
| 科目の概要   |   |                   |  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・教師の仕事内容</li><li>・教師の役割</li><li>・教師としての進路選択</li></ul> <p>自分が受けた教育が全ての教育ではない。また、自分が出会った教師が全ての教師ではない。そのため、多角的に自身の教育観や教師像を捉え、教師の仕事内容や教師の役割に対する理解を深めることで、教師としての進路選択を考える機会とする。さらに、教師として必要な資質能力を考えることで、教師としての職に対する自分の意欲や適正を考えるきっかけとする。</p> <p>また、授業の一部において、本学が開発したLMS（POLITE）を利用して行う。</p> |   |                   |  |
| 授業における学修の到達目標   |   |                   |  |
| 現代社会における教職の重要性の高まりを背景に、教職の意義、教師の役割・資質能力・職務内容等について身に付け、教職への意欲を高め、さらに適性を判断し、進路選択に資する教職の在り方を理解する。  |   |                   |  |
| 講義の方針・計画  |   |                   |  |
| 全15回の講義から構成されている。学習用プリントを参照し、各講義の授業課題を取り組むことが求められる。   |   |                   |  |
| 第1回：教師像・教育観   |   |                   |  |
| 第2回：生徒指導上の問題  |   |                   |  |
| 第3回：学習指導  |   |                   |  |
| 第4回：学級経営  |   |                   |  |
| 第5回：生徒指導  |   |                   |  |
| 第6回：教育相談  |   |                   |  |
| 第7回：進路指導  |   |                   |  |
| 第8回：教師の資質能力   |   |                   |  |
| 第9回：総合的な探求の時間   |   |                   |  |
| 第10回：特別支援教育   |   |                   |  |
| 第11回：特別活動   |   |                   |  |
| 第12回：チーム学校運営  |   |                   |  |

|   |
|---|
| <b>講義の方針・計画</b>   |
| 第13回：教員採用試験<br>第14回：教師の地位・身分・待遇<br>第15回：理想の教師像  |
| <b>準備学習</b>   |
| 印刷授業は、教科書や学習用プリント及びPOLITEなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を2単位で90時間かけて学習することを目安としています。わからない用語や内容は、参考文献等で調べることが準備学習として必要になります。  |
| <b>課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法</b>  |
| 印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。   |
| <b>成績評価の方法およびその基準</b>   |
| 科目試験による評価100%   |
| <b>教科書</b>  |
| 書名：教職入門－教師への道<br>著者名：藤本典裕・榎本淳子・斉藤里美・篠崎信之・須田将司<br>発行所：図書文化<br>版：改訂2版 2019年<br>ISBN：978-4-8100-9720-7   |
| <b>参考書</b>  |
| なし  |
| <b>その他</b>  |
| なし  |
| <b>試験期間</b>   |
| シラバス検索画面トップページ ( <a href="https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/">https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/</a> ) 下部の「2026学年暦」を参照  |
| <b>学習プリント</b>   |
| あり  |
| <b>教職科目</b>   |
| 情報5の1（必修）、商業5の1（必修）、高校数学5の1（必修）、中学数学5の1（必修）   |
| <b>関連受講科目</b>   |
| なし  |
| <b>担当教員の実務経験</b>  |
| 2004年から2021年まで、北海道の公立高校教員としての実務経験がある。また、定時制高校での勤務において、暴力行為・停学・不登校・中退・自傷行為・虐待事案等の様々な生徒指導上の問題への対応を行ってきた。さらに、高校教員として勤務しながら教育心理学分野の研究を行い、そこで得た知見を教育現場にフィードバックし、日々生徒と向き合っていた。授業ではこれらの経験を生かした実践的・理論的な授業になるように努めている。 |